

伊藤病院だより
SUMMER

Voice

2026年6月1日発行 第94号 東京都渋谷区神宮前4-3-6 伊藤病院広報誌委員会



代々木公園 旧五輪宿舎

医療の国際化に向けて

◆第35回アジア太平洋内分泌会議を終えて

第35回アジア太平洋内分泌会議会長
伊藤病院 内科部長 渡邊奈津子

2月9日と10日、アラブ首長国連邦(UAE)のドバイで第35回アジア太平洋内分泌会議(Annual Meeting of Asia-Pacific Endocrine Conference, APEC)を開催しました。

APECは、日本とアジア太平洋地域で内分泌の診療や研究に携わる先生方が集まる場として、1988年に始まり、伊藤院長が理事長を務めております。毎回、開催地の大学や医療機関と協力しながら、国や専門分野の枠をこえて意見を交わし、新しい知識を学び合うことで、アジア太平洋地域の医療者同士のつながりを深めてきました。

今回の開催地は、西アジアに位置するドバイです。Dubai Healthcare CityのAmerican Wellness Centerに所属する内分泌・糖尿病専門医Dr. Niaz Khan先生を副会長としてお迎えし、甲状腺や内分泌の内科・外科だけでなく、乳腺科、眼科、産婦人科、精神科など、さまざまな分野の先生方にもご参加いただきました。多くの視点から内分泌学について考えることができ、とても充実した会となりました。

ドバイの先生方とは、診療に関する意見交換だけでなく、医療ツーリズムや医学教育のこれからについてなど、興味深い話題をたくさん共有できました。お互いの文化や考え方に触れ、理解が深まり、温かい交流の時間となりました。

ドバイは、伝統文化と未来的な建築が共存する国際都市で、さまざまな分野で新しい挑戦を続けています。交流を通じて、ドバイに暮らす方々の柔軟さや包容力、知的な姿勢に触れ、この都市の発展を支えている力を実感しました。その後、世界情勢が不安定となり、現在はドバイへの渡航が難しくなっていることを思うと、無事に研究会を終えられたことに、改めて深い感謝の気持ちが湧いてきます。

発表

| | |
|----------|---|
| 川井田みほ | Biphasic thyroid tumor: epithelial nests and spindle cell component |
| ヘームス 規予美 | Papillary thyroid carcinomas with high-grade features: recent cases in Ito Hospital |
| 松本雅子 | Ultrasound image of IgG4 thyroiditis |

特別講演

| | |
|-------|--|
| 杉野公則 | MINI LECTURE I [Lenvatinib therapy for differentiated thyroid carcinoma with radioiodine-refractory distant metastases: A 10-year single-institutional experience] |
| 渡邊奈津子 | MINI LECTURE II [Recent advances and future directions in the treatment of thyroid eye disease] |
| 吉原 愛 | SPECIAL LECTURE [Medical management of Graves' disease in the preconception and gestational periods, with an emphasis on inorganic iodine therapy] |

座長・挨拶

| | |
|-------|-----------------|
| 渡邊奈津子 | Opening Remarks |
| 北川 亘 | THYROID I |
| 吉原 愛 | THYROID II |



学会活動

ピックアップ 伊藤病院研究会を開催しました

3月7日に第56回伊藤病院研究会を虎ノ門ヒルズフォーラムで開催しました。

この会は1977年に始まって以来、当院の最新の研究結果・知見を発表する場となっています。当院職員に加え、全国か

ら甲状腺疾患の研究・診療に携わっている先生方など、院外から119名にご参加いただきました。今回の発表概要をご紹介します。

「伊藤病院における甲状腺髄様癌 252症例、47年間の検討」

外科 岡村律子

この度、第56回伊藤病院研究会にて、甲状腺髄様癌について発表しました。髄様癌は、甲状腺がん全体の約1～5%と稀で、単施設からの報告は少ないのが現状です。当院の47年間のデータを解析しました。10年生存率は約90%以上と予後良好でしたが、その分、長く寄り添う継続的なフォローが大切です。また、約30%に遺伝性髄様癌である多発性内分泌腫瘍症2型(MEN2: Multiple Endocrine Neoplasia Type 2)を認めます。当院の頻度も同様でしたが、他臓器にも腫瘍を認めるため、他病院とも緊密に連携し、診療しています。



今回の報告は、当院の長きにわたる貴重な記録と、それを守る管理体制があったからこそ実現しました。最近では、分子標的薬も選択肢に加わっています。今後も最新の知見を取り入れ、患者様一人ひとりに最適な医療を届けてまいります。

「TRAb陰性甲状腺機能亢進症の臨床像とTSHR遺伝子バリエーション」

内科 飯田達也

甲状腺ホルモンが過剰になっている状態を「甲状腺中毒症」といいます。「甲状腺中毒症」の原因で多く見られるものは「バセドウ病」と「破壊性甲状腺炎(無痛性甲状腺炎、亜急性甲状腺炎)」です。前者は自己免疫(自身の免疫による刺激)によるホルモン異常であり、後者は甲状腺の炎症による一時的なホルモン異常です。また薬剤性(薬の副作用や、過剰内服)、妊娠に伴うものなども見られます。その中で、非常に稀ですがTSH(甲状腺刺激ホルモン)を受け取る受け皿であるTSH受容体(TSH receptor)の遺伝子に異常を来したため甲状腺でのホルモン産生が変化し、異常を呈することがあります。この遺伝子がTSHR遺伝子です。重要な疾患ではありますが、稀であるため過去の報告が少ないのが問題でした。そこで、当院で見つかったTSHR遺伝子の異常の実態を調査し、報告させていただきました。



伊藤病院フォーラムを開催しました

4月11日に18回目となる「伊藤病院フォーラム」を開催しました。この会は、院内の各部署が取り組んでいる業務改善などについて発表するもので、部署間の業務理解や連携を深める目的で毎年春に行っています。今回は連携施設である名古屋甲状腺診療所も含め計5演題の発表がありました。

最優秀演題に選ばれたのは、看護部医療相談室の「療養支援」業務についての発表です。医療相談室では、体調の変化によって通院が難しくなってきた患者様に対し、ご自宅やそのお近くなどで適切に療養を続けられるように支援(=療養支援)を

行っています。患者様やご家族のご希望を踏まえて一緒に方向性を考え、地域医療機関などと連携して療養環境を調整する重要な業務です。今回の発表では、現状の共有とともに、さらなる院内の体制強化など今後の展望についても触れられました。

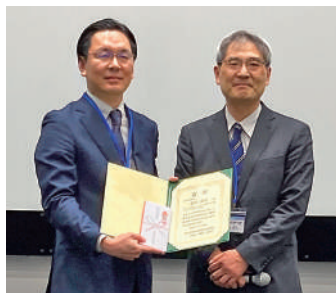


学会活動

ピックアップ 第41回甲状腺病態生理研究会が開催されました

伊藤病院 内科 飯田達也

2月28日に第41回甲状腺病態生理研究会が帝京大学医学部 内分泌代謝・糖尿病内科 盛田幸司先生の大会長のもと、品川シーズンテラスカンファレンスにて開催されました。本研究会は、例年甲状腺疾患にかかわる多くの医療関係者が参加し、甲状腺の病態生理に関する研究や、新しい知識及び技術に関してディスカッションを交わし、相互理解を深めることを目的としています。本年も120名を超える医療関係者が参加されました。



今回当院からは座長として、友田智哲医師、吉原愛医師が参加しました。また演者として川合未来医師が「バセドウ病に伴う甲状腺眼症におけるGO-QOLの特徴と臨床指標との関連」について、発表しました。本年の会は「シームレスな甲状腺研究・診療を目指して」がテーマで、医師以外のメディカルスタッフによる発表が複数ありました。当院からも、田中美咲季臨床検査技師が「honeycomb patternを呈した乳頭癌の1例」を発表しました。飯田は「TSH受容体(TSHR)遺伝子機能亢進型バリエーション陽性症例の臨床像」について発表し、研究奨励賞に選出いただきました。大変光栄であり、今回の経験を糧に今後もより良い甲状腺疾患診療に貢献できるよう、研究も含めて精進したいと思います。

ピックアップ 伊藤院長が甲状腺眼症に関するWEBセミナーで座長を務めました

2月26日に開催された「Web Symposium Thyroid Eye disease Seminar」において、座長を務めました。演者は順天堂大学大学院医学研究科 代謝内分泌内科学の内田豊義准教授で、「甲状腺眼症診療におけるパラダイムシフト ～病態理解に基づく早期診断と診療連携～」をテーマに講演されました。

甲状腺眼症は、眼球周囲の組織におこる炎症などにより眼球が前方に押し出される「眼球突出」が知られておりますが、重症になるとまぶたが下がらなくなったり、ものが二重に見える複視になるなど、日常生活にも大きな支障をきたします。また、これらの症状は甲状腺機能の治療だけでは軽快しない

ため、専門の眼科での検査や治療が必要となります。

これまで長らくステロイド薬で炎症を抑える治療法が中心でしたが、半世紀ぶりに新しい治療薬が承認され、有用性が示されています。当院も現在新たな薬剤の治験に協力をしています。

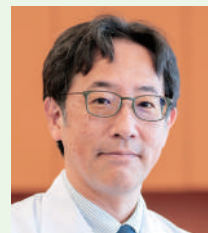


菅沼伸康先生が横浜市立大学の診療教授に就任されました

菅沼伸康先生が今年4月に横浜市立大学乳腺・甲状腺外科の診療教授に就任されました。先生は若き日に当院で甲状腺外科の研鑽を積まれたのち大学へ戻り、長年にわたり診療と教育の両面で活躍されてきました。論理的で丁寧な指導には定評があり、多くの若手医師の育成に尽力されています。現在も当院の

非常勤外科医師として、月曜午後外来と土曜午前細胞診を担当されています。

当院は今後も大学との連携を活かし、高度で信頼性の高い医療の提供に努めてまいります。



院内Wi-Fiを導入しました

来院される患者様およびその付き添いの方を対象に、無料でご利用いただける院内Wi-Fiを4月1日に導入しました。

SSID(Wi-Fiネットワーク名)、セキュリティの種類、パスワードは受付票下部に記載しています。なお、パスワードは定期的に更新しますので、ご来院の都度ご確認ください。



■ご利用時の注意点について

- 不特定多数の方が利用する公共ネットワークですので、個人情報やパスワード等の送受信は控える、ウイルス対策ソフトの導入など、自己防衛をお願いします。万一、ご利用により損害が発生しても、当院は一切の責任を負いません。
- 個別の端末に関する動作保証や、接続設定などをご対応できません。
- 未成年の方は、保護者の方の同意を得た上でご利用ください。
- このほか、ホームページ初診および再診のご案内ページに掲載している利用規約をご確認ください。利用規約はこちらのQRコードからもご覧いただけます。



飛翔するリュウキュウムラサキ(流し撮り撮影)

甲状腺は「翅をひろげたチョウ(蝶)」に形が似ているので、甲状腺のシンボルマークに蝶が用いられています。このコラムでは、甲状腺病理学者の虫林花山先生が、国内や海外で撮影した蝶たちを写真とともに紹介しています。

ある年の秋、たまたま立ち寄った長崎県島原半島の小さな公園で、翅に大きな白紋が目立つタテハチョウを見つけた。リュウキュウムラサキです。この蝶は沖縄以南に分布し、ここ九州には本来生息していませんが、台風などで運ばれた個体がたまに見つかる「迷蝶」です。しばらく観察していると、見晴らしが良い枝先に陣取り、占有行動を繰り返していました。そこで、この蝶が飛ぶ軌道上で待ち、飛ぶ姿を撮影することにしました。飛んでいる蝶の翅を写し止めるためには通常1/2000秒以上のシャッター速度が必要ですが、この時は1/500秒で「流し撮り撮影」に挑戦しました。この手法は動く被写体に合わせてカメラを動かし、背景だけを流して被写体を写し止めるという至難なテクニックです。この時の撮影では何度も試みて、やっと掲載写真のように背景が線状に流れて、飛翔するリュウキュウムラサキの姿だけをくっきりと写し止めた躍動感のある飛翔写真が撮影できました。至福の瞬間でした。



「がん」が持つ性質から甲状腺がんを考える ～シリーズ2回目
進行スピードを踏まえた甲状腺がんの治療

伊藤病院 外科 正木千恵



本シリーズは2回にわたり「がん」が持つ性質から甲状腺がんを考えていきます。1回目は進行スピードの概念を用いて、「がん」とは?について解説しました。2回目は進行スピードを踏まえた甲状腺がんの治療についてです。

がんは、正常な細胞の遺伝子に傷がつき(変異)、細胞が「無秩序に増殖し、周囲へ噛みこむように広がり(浸潤)、離れた臓器にがん細胞が移動しそこで大きくなる(遠隔転移)」性質をもった腫瘍です。がんが増大するスピードが速くても遅くても、浸潤や転移の性質があれば「がん」といいます。

図は、がんの進行スピードを模式的に3つに分け示しています。これを乳頭がん、濾胞がん、髄様がん、未分化がんの4つのタイプの甲状腺がんにあてはめます。乳頭がん、濾胞がん、髄様がんの多くは進行が緩徐で、AかBの経過をたどり、おとなしいがん、予後のよいがん、と言われます。致死的となりうる経過のCは、極めて稀です。

Aはゆっくり進行するがんです。数年から10年以上大きさが変わらない、あるいはゆっくりした増大が観察中のある時から止まったように見られる場合が該当します。乳頭がんのうち、診断時点で小さい(10mm以下)の場合、リンパ節転移がないなどの一定の条件を満たせば手術をせずに経過観察し続け

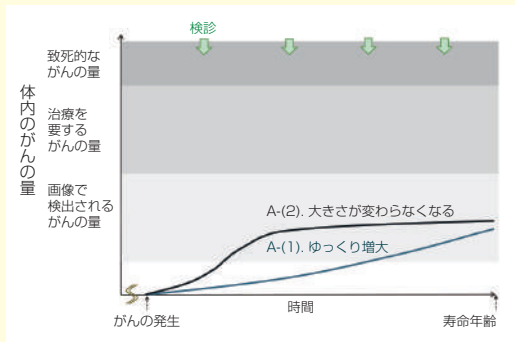
られます。いつまで観察すればよいかは決まっていません。観察中にがんが増大し続けたり、リンパ節転移が出現すれば手術を勧めます。

BはAより少し早く進行するがんです。組織型に依らず、手術によって治療される多くの甲状腺がんが該当します。図は模式的に示していますのでAに近い場合もCに近い場合もあります。伊藤病院では手術を計画後、数ヶ月の待機期間があります。Aに近い性質と判断されれば待機は医学的に許容されます。Cに近い性質であればそれに応じた対応をしています。手術までの待機期間は患者様に不安という負担を生じるかもしれません。その場合、このようながんの性質を理解しておくことは役立ちます。

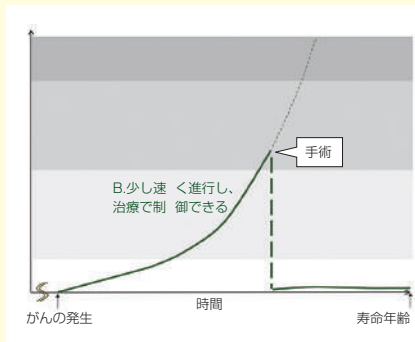
Cは極めて速く進行するがんで、甲状腺がんでは稀です。頸部腫大などの自覚症状が短期間で進行することもあり、個々の状況に応じて対応しています。

ご自身のがんと診断されたら進行の確率論で捉えるより、自身のがんがこの先どのような経過をたどりうるかが気になるでしょう。いずれの場合も、がんと診断されたら定期的な受診がとても大切です。実際には、超音波検査(エコー)を定期的に行ってサイズに大きな変化がないかを見ながら、定期的フォローの間隔や期間、治療方法などを決めます。わたしたちは一人ひとりの患者様のニーズにあった方針決定をするように努めています。お悩みのことがありましたらぜひ外来主治医とよく相談してみてください。

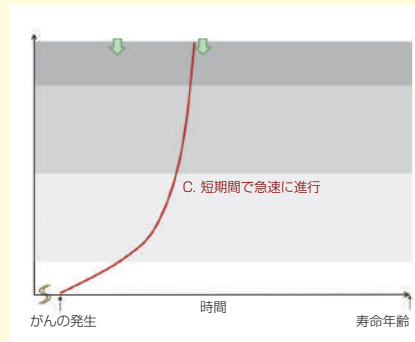
図A：ゆっくり進行するがん



図B：速く進行するがん



図C：極めて速く進行するがん



図：がんの増大を進行スピードごとに表した模式図 (注)あくまで模式 図として極端に示しています。

表参道寄り道スポット

タケノとおはぎ

表 参道の落ち着いた街並みに溶け込む「タケノとおはぎ」は、世田谷に本店を構えるおはぎの専門店です。昔ながらの和菓子であるおはぎを、素材本来の味を大切にしながら現代の感性で丁寧に仕上げ提供しています。保存料や添加物に頼らず、一つひとつを職人の手で丁寧に作り上げています。



特徴は、甘さを控えめにした上品な味わい。口に入れた瞬間、あんこの自然な甘みと香りがふんわりと広がり、もち米のやわらかな食感が心地よく調和します。日常のおやつとしてはもちろん、手土産や贈り物としても喜ばれる、どこか懐かしく、それでいて新しさを感じるおはぎです。この店の背景には、オーナーのご家族への想いと料理への深いこだわりがあります。オープンきっかけは、もともと洋風のデリカテッセンを経営していたオーナーが、おばあさまがよく作ってくれたおはぎの味を受け継ぎたいと思い立ったこと。和菓子とデリカテッセン、一見異なる文化ですが、素材の持ち味を引き出すという考え方は共通しています。その感性が、おはぎづくりにも静かに息づいています。

店頭にはオーソドックスなつばあ

んとこしあんに加え、季節の花をモチーフにした白あんベースの変わり種など7種類ほどが並び、7個か5個を購入するとわっぱに詰めてもらえます。また、数量限定の「表参道店限定おはぎBOX」は一段と華やか。季節の移り変わりにあわせて内容が変わるので、気になる方はぜひSNSをチェックしてみてください。



表参道店限定おはぎBOX
(数量限定)
3,780円前後



詰め合わせ(7種)
2,500円~2,700円

※おはぎの種類は時期によって変わるため、値段が前後する可能性があります。
※お支払いはキャッシュレス決済のみとなります。

お店の方から一言
「タケノとおはぎ」は、オーナーが祖母のおはぎが大好きだったことから、その作り方を教えてもらってはじまったお店です。毎日食べられるような素朴であたかな味を手作りでお届けしています。売り切れ次第終了となりますので、お買い求めの際はお早めのご来店をおすすめします。



店名 タケノとおはぎ
住所 渋谷区神宮前4-14-20 ティアラビル1階B号室
電話番号 03-6805-6075 (世田谷本店)
営業時間 12:00 ~ 18:00 (売り切れ次第終了)
定休日 月曜、火曜
アクセス 東京メトロ「表参道」駅A2出口より徒歩4分
伊藤病院より徒歩4分


Wi-Fi なし
携帯充電 不可
Instagram @takeno_to_ohagi_omotesando
喫煙 禁煙



基本
DATA

表参道ランチ&グルメ情報

しゃぶしゃぶKINTAN 表参道

 今回ご紹介するのは、伊藤病院から徒歩約4分の場所にある「しゃぶしゃぶKINTAN 表参道」です。店内は落ち着いた雰囲気、ゆったりとしたテーブル席や個室、おひとり様でも利用しやすいカウンター席が並びます。



お店のこだわりは、“おいさと健康の両立”を追求した独自のしゃぶしゃぶスタイル。メインのお肉は、牛タンをはじめ、ミスジ、イチボ、トモサンカクなどの希少部位まで幅広く、普段は焼肉で楽しむ部位をしゃぶしゃぶで味わえるのもKINTANならではです。さらにうれしいのは、20～30種類もの彩り豊かな野菜とキノコのラインナップ。メニューによってはおかわりが自由で、最初に提供される分+おかわり1回で1日分の野菜(350g)を摂取できるよう工夫されています。



日本のスーパーではあまり見かけない珍しい食材も取り揃えられており、訪れるたびに新たな味覚との出会いを楽しめるのも特徴です。

人気メニューは「牛タン&三元豚ハーフ豚しゃぶセット」や「厳選和牛赤身しゃぶしゃぶセット」。7種類のスープから2種類を選べるので、お好みで味わいをカスタマイズできます。週替わりスープもあり、何度訪れても飽きない楽しさがあるのも魅力です。

温かいしゃぶしゃぶは、通院の合間の気分転換や、頑張った自分への小さなご褒美にもぴったり。表参道でランチに迷ったときはぜひ足を運んでみてください。心も体も満たされるひとときを過ごせるはずですよ。

※価格はすべて税込表示です

白米or十六穀米大盛り無料、お惣菜付き、日替わりデザート付き



3種のしゃぶしゃぶセット
1,680円

白米or十六穀米大盛り無料、お野菜・お惣菜おかわり自由、日替わりデザート付き



牛タン&三元豚
ハーフ豚しゃぶセット
2,080円



厳選和牛赤身
しゃぶしゃぶセット
3,480円

お店の方から一言

「お客様の食生活をより豊かに、お客様の心をより幸福にする」をコンセプトに、日常生活ではなかなか出会えない野菜や希少部位のお肉を新しいスタイルで提供しています。お肉とお野菜をバランス良く、たっぷりお召し上がりください!



店名 しゃぶしゃぶKINTAN 表参道
住所 渋谷区神宮前4-5-12 セビア原宿ビル2F
電話番号 03-5411-4129
営業時間 [ランチ] 平日 11:30 ~ 15:30 (L.O.14:30)
土日祝 11:00 ~ 15:30 (L.O.14:30)
[ディナー] 平日 18:00 ~ 23:15 (L.O.22:45)
土 17:00 ~ 23:15 (L.O.22:45)
日祝 17:00 ~ 22:00 (L.O.21:00)

定休日 年末年始
アクセス 東京メトロ「表参道」駅 A2出口より徒歩5分
伊藤病院より徒歩4分

Wi-Fi あり
携帯充電 スタッフまでお声がけください。
ホームページ <https://www.kintan.restaurant/shop/omotesando-shabushabu/>
平均予算 1,500 ~ 3,500円
喫煙 禁煙
席数 66席

基本
DATA





伊藤病院 内科 川合未来

一年のなかで胃腸炎が流行るのは冬のイメージが強いですが、実は胃腸炎は夏にもかかります。今回は胃腸炎について、季節での違いも含めてお話しさせていただきます。

●胃腸炎とは？

胃腸炎とは、胃や小腸、大腸などの消化管に炎症が起こる病気のことです。嘔吐や下痢、腹痛などの症状を引き起こします。原因によって二種類に分けられ、一つがウイルスや細菌などによる「感染性胃腸炎」、もう一つがストレスや食べ過ぎ、薬の副作用などで起こる「非感染性胃腸炎」です。

ウイルスによる胃腸炎として頭に浮かびやすいのは牡蠣から感染するノロウイルスかと思いますが、これは11月～3月頃の寒い時期に流行します。ほかにも乳幼児に多いロタウイルスによる胃腸炎も冬に流行しますが、これは冬が寒さと乾燥でウイルスが増えやすい時期だからです。では夏にはどんな胃腸炎が流行のでしょうか？

●夏の胃腸炎は細菌が多い！

夏はウイルスが増えにくい時期ですが、代わりに気温も湿度も高いので食品が傷みやすく、細菌が増えやすい季節です。もちろん夏の暑さにも強いウイルスによる胃腸炎もありますが、細菌性の胃腸炎は症状が強ければ抗生剤を使う必要も出てくるので、注意が必要です。また夏は冷たい飲み物や食べ物を摂りすぎると胃腸が冷えて消化機能が低下しやすく、屋内と屋外の温度差ストレスで自律神経への乱れを起こし胃腸の動きを不安定にしてしまうことから、胃腸炎にかかりやすくなっています。

基本的にはウイルス性胃腸炎も細菌性胃腸炎も対症療法が中心で、脱水症状を防ぐための水分補給がなによりも重要です。症状にあわせて整腸剤、制吐剤、解熱鎮痛剤が使用されますが、止痢剤(下痢止め)はウイルス、細菌の排出を遅らせて逆に状態を悪化させる可能性があるため、自己判断では使用しないようにしましょう。

いずれの胃腸炎でも多くの場合一週間程度で自然に回復しますが、症状の重い細菌性胃腸炎の場合には抗生剤での治療が必要になります。腹痛や下痢症状が強い場合、便に血液や膿がみられる場合、細菌性を疑うような飲食物摂取歴がある場合には、細菌性の可能性を考えて早急に病院を受診してください。

代表的な細菌性胃腸炎

| | 主な感染源 | 潜伏期間 | 症状の特徴 |
|----------|------------------|--------|-------------|
| 腸炎ビブリオ | 生魚、貝類など | 4～96時間 | 激しい腹痛と水様便 |
| サルモネラ | 加熱不足の卵、肉、ペットの便など | 6～72時間 | 水様性下痢・嘔吐・発熱 |
| カンピロバクター | 加熱不足の肉(特に鶏肉)など | 2～7日程度 | 発熱・腹痛・血便 |

●胃腸炎予防に大事なこと

- ・手洗い：調理の前や食事の前には、石鹸でよく手を洗いましょう
- ・食材の管理：生ものは冷蔵庫で保存し、早めに食べましょう
- ・調理器具の洗浄・消毒：調理器具は使用后すぐに洗い、熱湯や消毒液で消毒しましょう
- ・十分な加熱：肉や魚は、中心部までしっかりと火を通しましょう

●胃腸炎にかかったら

- ①水分・栄養補給と安静：こまめな水分補給(脱水予防)、消化に良いものを少しずつ摂取する(おかゆやバナナなど)、乳製品やカフェイン、脂っこいものは控える
- ②周囲への感染を防ぐ：手洗いの徹底、トイレなど共用部分は清潔に保つ
- ③早めに医療機関へ：迷わず受診しましょう

▲病院受診の目安

- ・下痢が一日5回以上、3日以上続いている
- ・吐き気や嘔吐で水分が摂れない
- ・尿量が少なく、ぐったりしている
- ・血便や高熱が出ている
- ・乳幼児、妊娠中、高齢者の方
- ・基礎疾患をもっている方(糖尿病など)

胃腸炎は、正しく気をつければ予防できる病気です。手洗いや食べ物の管理を大切にして、体調が悪いときは無理をせず、早めに受診しましょう。

自動精算機を導入しました

名古屋甲状腺診療所 事務

当院では、窓口の混雑緩和を目的に4月20日より「自動精算機」を導入しました。新しい自動精算機では従来の現金決済に加えて、以前より患者様からご要望いただいていたクレジットカードでのお支払いが可能になりました。ご利用いただけるカード会社は下記の通りです。



導入後は、現金のお手持ちの心配や小銭のやり取りがなくなったので会計がスムーズになり、ご好評の声を多数いただいております。

また、自動精算機では診察券のお取り忘れが発生しやすいため、機械本体に大きく注意表示を貼付するなど、患者様がわかりやすく利用できるよう工夫しています。

待合スペースの椅子を増設・リニューアルしました

待合スペースの椅子について、経年劣化に伴い「揺れて音が鳴るのが気になる」といった患者様からのお声を以前よりいただいております。このたび、より安心してお過ごしいただけるよう、座り心地や安定性に配慮した椅子にリニューアルしました。あわせて、混雑時にもより多くの方にご利用いただけるよう増設も行いました。

今後も患者様に快適に受診いただけるよう設備を改善し、満足度向上に努めてまいります。

名古屋甲状腺診療所

住所：愛知県名古屋市中区大須4-14-59
電話：052-252-7305 FAX：052-252-7308
HP：https://www.kojin-kai.jp/nagoya/

**連携施設のご紹介：****「手稲溪仁会病院」眼科(眼窩・神経眼科センター)**

さっぽろ甲状腺診療所 院長 岩久建志

手稲溪仁会病院は札幌市の北西部、小樽市と隣接する札幌市手稲区に位置する、札幌市西部で最大規模(670床)の総合病院です。救命救急センター・ドクターヘリを擁し、救急搬送を24時間365日



受け入れ、高度急性期医療を提供する地域医療の要として機能しています。同院眼科(眼窩・神経眼科センター)では、坂口貴鋭部長を中心として視覚や眼球運動を専門とする神経眼科の先生方が、ものを見るときに必要な不可欠な視神経や眼球周囲の筋肉や骨、まぶた(眼窩周囲組織)の疾患の診断と治療を行っております。

当院は開院当初からバセドウ病や慢性甲状腺炎に併発する甲状腺眼症において診療連携をしております。視力検査や視野検査をはじめとする一般的な眼科検査に加え、CTやMRIを用いた炎症の状態と重症度の評価を行い、甲状腺眼症による炎症に対してはステロイド全身投与や局所注射、新規薬剤のテプロツムマブを用いた眼窩周囲組織の消炎治療、そして対応が遅れると失明の危険がある圧迫性視神経症に対するステロイドパルス治療や眼窩減圧術、手術の後遺障害(複視など)に対する治療の実施など、軽症から最重症、後遺障害に対する治療まですべての甲状腺眼症に対応できる体制が整っております。

開院当初からこれまで200名以上の患者様の診察をお願いしており、丁寧かつ確実な医療を提供していただいている大変心強い施設です。

さっぽろ甲状腺診療所

住所：北海道札幌市中央区大通西15丁目1-10
ITOメディカルビル札幌5F
電話：011-688-6440 FAX：011-688-6439
HP：https://www.kojin-kai.jp/sapporo/



このコーナーでは、当院の診療連携施設であるやました甲状腺病院の情報をご紹介してまいります。

医療法人福甲会 やました甲状腺病院 院長 佐藤伸也

戦術は戦略に従属し、戦略は政治に、政治は経済に従属する

やました甲状腺病院の佐藤伸也です。

イスラエルとアメリカによるハメネイ師殺害を含むイラン空爆で2026年2月28日に始まったイラン戦争は2026年4月30日時点では一時休戦に近い状態で、昨日、出光興産関連の日本行きのタンカー1隻がホルムズ海峡を通過したとの報道はありましたが、全面解決には程遠い状況です。現代において石油はエネルギー資源としてだけではなく、あらゆる製品の材料として無駄なく使用されており、供給が途絶えると社会、経済が回らなくなります。コロナ禍やウクライナ戦争の際もサプライチェーンが混乱し、世界経済が混乱したのは記憶に新しいところです。コロナ禍は天災と言えなくもないですが、今回のイラン戦争と現在も係争中のウクライナ戦争は明らかに人災と言えます。ローマ教皇レオ14世が「世界は一握りの暴君たちに荒廃させられている。」と言いたくなる気持ちもよくわかります。

今回のイラン戦争を見聞きしていて思い起こされたのが上記の言葉です。上記の言葉は小説をほぼ読まなかった中学～高校生の私が全巻揃えて読んでいた田中芳樹氏の小説[銀河英雄伝説]の主人公のひとりであるヤン・ウェンリーのセリフです。1988～2000年頃にアニメ化され、高校・大学時代にも見ていました(最近、再度アニメ化されているようです)。物語の詳細な内容はネットなどで調べていただけたらと思いますが、この作品が興味深いのは戦術論・戦略論について作中に色々と議論している点かと思います。その中で戦略的思考について一番語っているのがヤン・ウェンリーであり、若かった私もいろいろと影響を受けました。その言葉の中で現在のイラン戦争を端的に示しているのが上記の言葉ということになります。兵法の本としては[孫子]が有名ですが、軍事関係者の間ではプロイセンのカール・フォン・クラウゼヴィッツ作の[戦争論]がよく学ばれており、[銀河英雄伝説]は[戦争

論]を小説という娯楽に落とし込んだような作品とも評されます。ちなみに[銀河英雄伝説]の作中でヤン・ウェンリーはこうも言っています。「戦術レベルでの勝利が戦略レベルでの敗北を償うことはできない。それが軍事上の常識だ。そして、戦略レベルにおける勝利が、政治レベルにおける敗北を償うこともできない」と。報道ベースおよびネット経由での情報しか私は把握しておりませんが、アメリカ軍の軍事力は相変わらず圧倒的で、戦術的にはまったく申し分ないです。ただし、今回は戦略目標が曖昧かつ楽観的で、その後起きうる結果に対しての見積もりが甘かったように思われます。また、それが今後アメリカや世界が払う代償に見合ったものなのかにも大いに疑問を感じるどころです。アメリカ経済が現代において最強なのは言うまでもありませんが、それでも政治が中二病的発想で戦略を立てると、いかなる戦術的成果を以ってしても戦略的失敗をつぐなえないということでしょうか。一方、イランはイランで第二次上田合戦前の真田昌幸・信繁のようなノラリクラリとした交渉をしているので、今回の戦争の解決にはまだまだ時間がかかりそうです。そう言えば、後世の目で見れば、昌幸らは戦術的、戦略的な勝利を得ましたが、政治的にはうまくいかなかったと言えるでしょうか。まあ、ともかくにも本稿が出る夏頃にはホルムズ危機が改善していることを期待したいところです。



医療法人福甲会
やました甲状腺病院
〒812-0034
福岡県福岡市博多区下呉服町1-8
<https://www.kojosen.com/>
TEL: 092-281-1300 FAX: 092-281-1301

学会活動

- 第17回 大江戸内内分泌手術手技懇話会(東京・1/31)
ヘイムス 「高異型度甲状腺乳頭癌：伊藤病院における最近の規予美 症例」
- 第17回 神戸甲状腺診断セミナー(兵庫・2/14～15)
正木千恵 「濾胞性病変の理解と管理：臨床からの視点」
- 第40回 日本がん看護学会学術集会(大阪・2/21～22)
後藤 希 「認定看護師による分子標的薬治療に関する学習と実践支援」
- 第9回 沖縄県甲状腺研究会(沖縄・2/24)
友田智哲 「甲状腺癌診療について」
- 第91回 臨床内分泌代謝研究会(WEB・3/11)
吉原 愛 コメンテーター 演題3 レボチロキシン吸収試験で吸収障害と診断しレボチロキシン静脈投与により治療抵抗性甲状腺機能低下症の一例「レボチロキシン吸収障害」
- 第39回 甲状腺眼症研究会(東京・3/21)
吉村 弘 「Thyroid eye diseaseの病因再考：TSAbと眼窩線維芽細胞サブセットからみた臨床的パラドックスの考察」
- 第115回 日本病理学会総会(北海道・4/16～18)
川井田みほ 座長「一般ポスター 33 副腎」
- 第126回 日本外科学会定期学術集会(北海道・4/23～25)
鈴木草史 第126回企画 外科横断漢方塾－領域を越えた治療選択のヒントー「進行甲状腺癌に対する薬物治療時の支持療法における漢方薬の役割」
鈴木草史 シンポジウム 遺伝子情報を用いた甲状腺癌の集学的治療の現状と展望(International)「進行甲状腺癌に対する薬物治療の現状と課題」
齋藤慶幸 「全国がん登録を用いた甲状腺原発リンパ腫の組織型分布とStage別治療成績」

講演活動

- 日本病理学会 2025年度細胞診講習会(WEB・1/24)
川井田みほ 「講義5・標本解説 甲状腺」
- Thyroid Cancer Expert Meeting(WEB・2/17)
杉野公則 「Opening Remarks」
ヘイムス 規予美 「集学的治療を行った甲状腺癌の骨転移症例」
正木千恵 座長「講演①～③」

- 東京甲状腺癌治療研究会(ハイブリッド・3/11)
正木千恵 Session1：エンコラフェニブ/ピニメチニブの使用経験「BRAF変異陽性甲状腺乳頭癌に対する逐次治療を見越した薬物治療選択」
- Web Symposium Thyroid Eye Disease Seminar(WEB・3/12)
渡邊奈津子 「内科医が知っておくべき甲状腺眼症の基礎知識」
- エーザイ株式会社「MR研修会」(東京・3/25)
鈴木草史 「伊藤病院におけるBRAF陽性進行甲状腺癌の治療実態 第68回日本甲状腺学会学術集会での発表を中心に」
- ピラフトビ・メクトビ甲状腺癌Expert Seminar(ハイブリッド・4/3)
塩谷純子 「伊藤病院における服薬指導・眼障害マネジメントの構築」

2026年 学会による臨時休診等のご案内

6月の臨時休診等

| | |
|---------|-------------|
| 6月2日(火) | 多くの医師の外来が変更 |
| 3日(水) | |
| 4日(木) | 外来休診 |
| 5日(金) | |
| 6日(土) | 多くの医師の外来が変更 |

※日本内分泌学会および日本内分泌外科学会のため

10月の臨時休診等

| | |
|-----------|-------------|
| 10月22日(木) | 外来休診 |
| 23日(金) | |
| 24日(土) | 多くの医師の外来が変更 |

※日本甲状腺学会のため

6月・10月の学会会期中は、多数の医師が学会に参加するため、上記のように臨時休診や多くの医師の外来が変更となります。

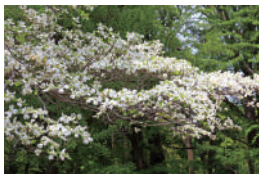
また、会期の前後の週は混雑が予想されます。特に臨時休診後は混雑することが多いため、早めのご来院をご検討くださいますようお願いいたします。

患者様にはご不便をおかけいたしますが、なにとぞご容赦いただきますようお願い申し上げます。

表紙no写真

代々木公園 旧五輪宿舍

パステルブルーが映える平屋の建物は、4月にオープンした「ドトール パークカフェ YOYOGI」。1964年の東京五輪の選手宿舎を再建したもので、さらに歴史を遡ると、戦後に作られた米軍住宅地「ワシントンハイツ」の一戸でした。老朽化に伴って周辺の園路などとともにリニューアルされ、以前より明るく過ごしやすくなっています。宿舎の周りには米国から寄贈されたハナミズキの木々が植わっていて、撮影した4月下旬には美しい白い花を咲かせていました。(西澤)



Instagram

フォローお願いします♪

伊藤病院公式インスタグラムにて、病院の活動や患者様へのお知らせなどを発信しています！



編集後記

Voice夏号をご覧いただきありがとうございます！

初夏を感じ鮮やかな紫陽花が咲く季節となりました。皆さま元気にお過ごしでしょうか？夏は楽しいイベントも多いですが近年の暑さは異常なものです。これから本格的な夏が到来し、猛暑日も続くと思いますが、夏バテや熱中症にならないよう水分補給をしっかりと行い、体調にはお気をつけください。この夏も乗り越えていきましょう！次回のVoiceもお楽しみに！（松本）

甲状腺疾患書籍のご案内

当院近くの「山陽堂書店」でも販売しております。ぜひご活用ください。



「患者のための最新医学シリーズ
バセドウ病・橋本病 その他の
甲状腺の病気 改訂版」

監修：伊藤公一
定価：1,430円(税込)
発行：高橋書店



新版「甲状腺の
病気の治し方」

監修：伊藤公一
定価：1,430円(税込)
発行：講談社



新刊

「やさしいカラー図解
甲状腺の病気」

監修：伊藤公一
定価：1,870円(税込)
発行：法研



「図解 甲状腺の病気が
よくわかる
最新治療と正しい知識」

監修：伊藤公一・高見博
定価：1,540円(税込)
発行：日東書院



安全！便利！おいしい！
甲状腺専門・伊藤病院がおくる
ヨウ素制限食レシピ

監修：伊藤公一
編集：北川亘
定価：1,760円(税込)
発行：全日本病院出版会



「よくわかる最新医学
甲状腺の病気」

監修：伊藤公一
定価：1,540円(税込)
発行：主婦の友社

発行 2026年6月1日発行 第94号 伊藤病院広報誌委員会

ITO
HOSPITAL
伊藤病院

〒150-8308 東京都渋谷区神宮前4-3-6
TEL : 03-3402-7411
FAX : 03-3402-7415
URL : <https://www.ito-hospital.jp>

